



New Library

第 49 号 2026. 10

編集 教育推進委員会図書部 学生図書委員会

健康保育学科 川村昂 篠藤天璃 折野愛日 矢津田惺愛

発行 新見公立大学附属図書館

～おいしく読める本～

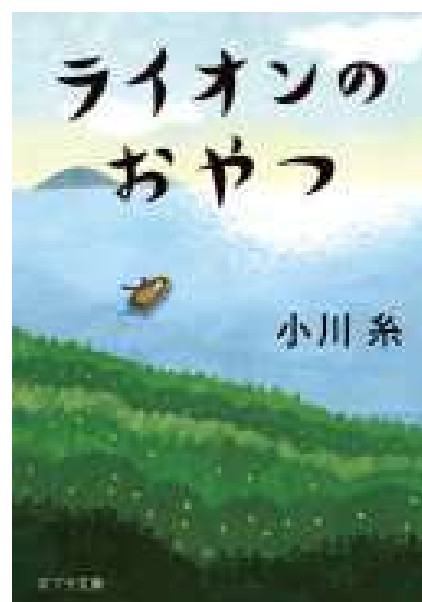
今回は、読書の秋・食欲の秋にふさわしい、おいしく読める本を紹介します。
おいしいものをもりもり食べながら、どんどん本を読みましょう。



満月珈琲店の星詠み

望月麻衣 著/桜田千尋 画
文春文庫/2020

優しい三毛猫のマスターと星遣いの猫たちが、占星術で迷える訪問客たちの星を詠み、とっておきのスイーツやフード、ドリンクを提供してくれる、満月の夜にだけ現れる満月珈琲店。悩める人々を星はどう導くのか。極上のスイーツたちのイラストと共に、素敵な物語の中に入り込んでみてください。



ライオンのおやつ

小川糸/ポプラ文庫/2022

もし人生最後の日に、おやつを一つ選べるとしたら何を選びますか。おやつの思い出と共に、きっと大切な誰かを思い出すでしょう。瀬戸内のホスピスで過ごす人々の、おやつと共に語られる「生きる物語」です。



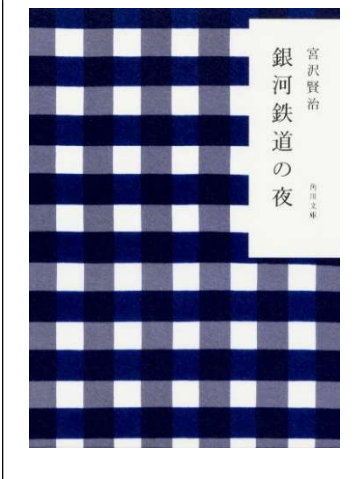
こんな日は喫茶ドードーで雨宿り。

標野風/双葉文庫/2023

悩みや疲れを抱えた人が、ひっそりと佇む喫茶ドードーを訪れ、店主の温かい料理や言葉に心をほぐされていく物語です。まるで雨宿りをするように、心を休めるひとときをくれる1冊です。



☆学生選書コーナー☆

	ぼくは明日、昨日のきみとデートする/七月隆文/宝島社文庫/2014 恋愛小説は数あれども、この1冊は特別です。共に過ごせる時間の奇跡と切なさに胸が締めつけられます。伏線が見事で、読後もしばらく余韻が残ります。		銀河鉄道の夜/宮沢賢治/角川文庫/1969 星がきれいに見える秋の夜に読みたくなる1冊。少年ジョバンニは、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗り、星空を旅します。幻想的な世界の中で交わされる2人の会話には、「幸せとは何か」という問いが込められています。静かな夜に、ゆっくり味わってほしい物語です。
	日暮れのあと/小池真理子/文春文庫/2026 この短編集は「老い」や「寂しさ」をテーマにしています。収録されている7編はすべて、繊細な心の機微の描写が魅力的な作品です。読後はこの本のしっとりとした世界観が、心に残り続けること間違いなしです。		愛を知らない/一木けい/ポプラ文庫/2021 主人公である橙子の、たったひとりでは背負いがたい秘密。それは何だと思いますか。橙子が友人たちとの出会いをきっかけに秘密を打ち明けるお話です。その重苦しい秘密が気になる方はぜひ読んでみてください。
	ないものねだりの君に光の花束を/汐見夏衛/角川文庫/2023 誰かを羨み、自分には何も無いと思ったことはありませんか。誰もが憧れる人気者と、自分を脇役だと思っている少女の物語。2人の出会いを通して見えてくる「自分」。読後、今より少しだけ自分を好きになれる物語です。		かがみの孤城/辻村深月/ポプラ文庫/2021 学校で居場所を失い、心を閉ざしていた少女の前で、突然部屋の鏡が光り始める。その先にはオオカミの面をつけた少女と、似たような境遇の7人の子どもたちがいた。城に隠された秘密とそれが明らかになるとき驚きと大きな感動が訪れる。

◆秋は、食欲の秋と言われるほどおいしいものがいっぱいありますね。今回は、そんなおいしいものを食べながら楽しめる本を選んでみました。ぜひほっと一息付ける際に読んでみてください。(保育2年川村、篠藤) ◆「ほどよくつかった白いこかぶと緑の胡瓜。傍には黄色も鮮やかな菜の花づけ。銀紙で仕切った半分には蜂蜜をかけた真赤な苺の可愛い粒。中の段には味噌づけの鰯の焼物。その隣りの筍と蒟、かまぼこはうす味煮。とりのじぶ煮はちょっと甘辛い味がつけてある。」沢村貞子著『私の台所』の一節です。読むだけで唾液が。こんな食レポを書きたいと思うも、難しいんですよね、これが。食の名文はまさに醍醐味。美味しい本、存分に味わってください。(健康保育学科 立浪朋子)

新見公立大学附属図書館 新見市西方 1263-2 Tel/Fax : 0867(72)0664 e-mail address:n-lib@niimi-u.ac.jp

